



長尾 義和

一、広域連携の推進 二、農地の保全と高度産業化 プロジェクト等の推進

広域連携の推進

問 人口減少や高齢化の進展は、町単独での行財政運営は厳しい状況になる。

これまでから近隣市町と様々な分野で連携を行っているが、さらなる広域連携に向けての考え、方針について問う。

答 ごみ処理施設をはじめ、消防事務委託など、広域的な連携に取り組んできた。

人口縮減に対応した、未来を見据えた自治体行政の在り方、住民サービスの提供をどのように実現していくかを圏域で支え合う仕組みづくりが重要と考えている。

問 広域連携を進めようとして、もう一つの考え方も考えていくべきではないか。

答 合併もありきだと思っているが、相手があつてのことである。実情を踏まえた中で地域、地勢、多くの方の考え方を総合的に判断しながら、じっくりと醸成していくことが肝要である。

農地の保全と高度産業化プロジェクト等の推進

問 まちづくりの上から農地の保全は欠かせない。一方、時代に見合った土地利用を図るため、企業誘致や高度産業化プロジェクト（特に村上農園）の推進に取り組んでいるが、現状を問う。

答 高度産業化推進プロジェクトにおいては、産業用地への土地利用の転換について、地権者の意見集約と事業者との調整など、合意形成に向けて行政として支援を進めている。

国勢調査人口（人）		
平成22年	平成27年	令和2年 (速報値)
11,650	10,256	9,062



一般質問



井上 加奈子

一、公園の設置 二、ささゆり学園の現状と今後 三、村上農園の開発計画

公園の設置

問 旧庁舎跡地について問う。

答 現在進捗なし。旧歌垣小学校の再編整備に一定のめどが立てば、旧庁舎の解体に取りかかりたい。具体的には、令和4年度中には設計の予算を計上したい。

問 緊急事態宣言下でも開放されている施設は。

答 歌垣山公園、けやき資料館、能勢の郷、浄るりシアター前広場、保健福祉センターのプレールームの一般開放。

問 ささゆり学園の「さびの丘」の一般開放について問う。

答 安心安全の確保のため、学校施設の一般開放

村上農園の開発計画

問 廃校の校庭の一般開放について問う。

答 監視や管理の観点から困難である。

ささゆり学園の現状と今後

問 義務教育学校の説明会の参加者が少ないが、今後の予定を問う。

答 「ささゆりガイドブック」を修正中で、完成したら保護者や地域の方に見てもらい、説明会を開催を予定している。

問 新型コロナウイルス感染症対応策について問う。

答 国のガイドラインや府からの周知に基づき、町の学校の対応方針を決め、保護者に周知している。

